

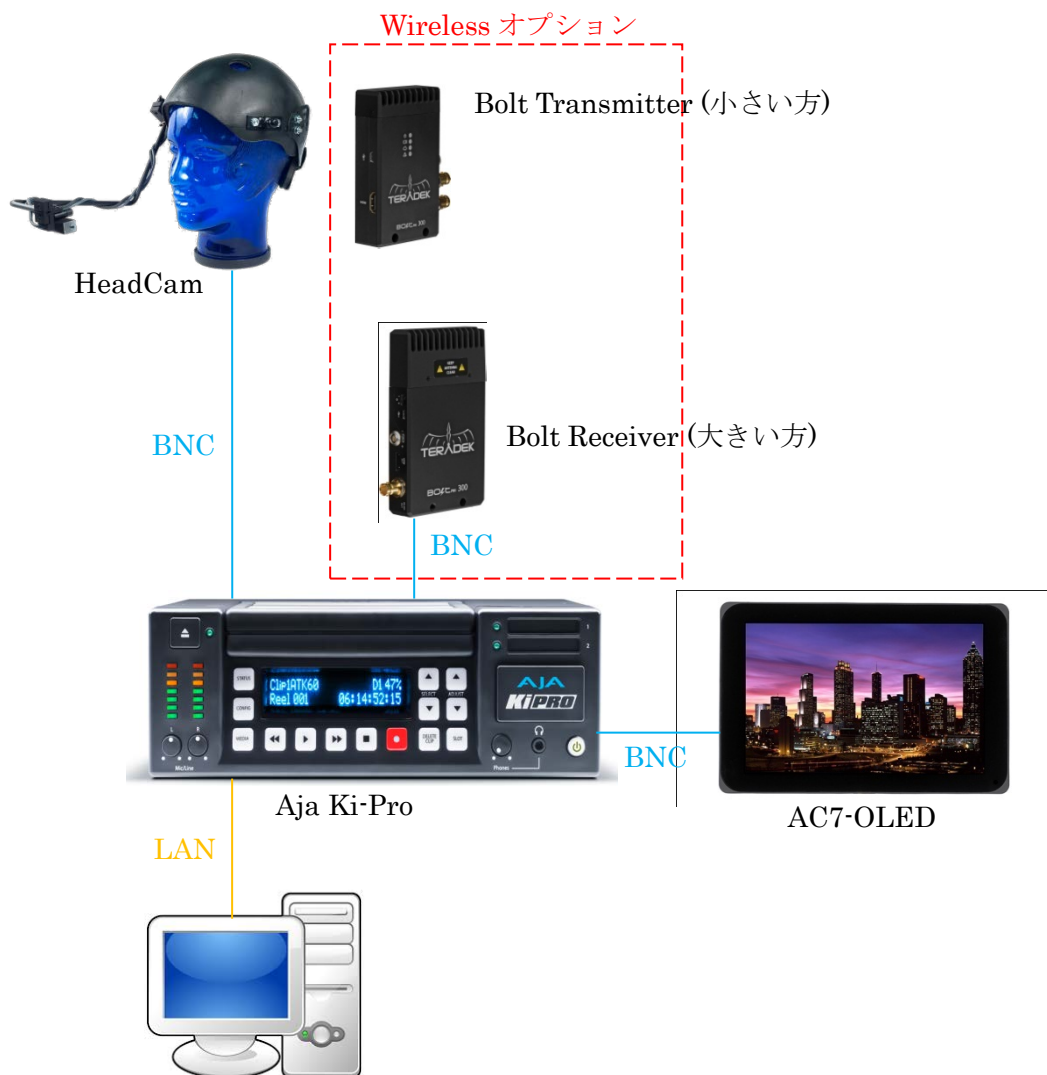
Faceware Complete System クイックスタートマニュアル

2016 年 3 月 30 日版

1. 梱包品

- Faceware Pro HD HeadcamSystem 1 式
- AJA Ki-Pro 1 台
- Small HD AC7-OLED SDI 1 台
- Teradek wireless video Bolt 1 式 ※Wireless オプション
- クリップアーム 2 個 (2 種類) ※Wireless オプションではない場合 1 個

2. ハードウェア接続概略図



3. 各機材の接続詳細

3-1. Faceware Pro HD Headcam system ケーブル接続

- ・有線の場合

カメラからの BNC コネクタ（メス）に同梱されている BNC ケーブルを接続してください。



- ・無線の場合

カメラからの BNC コネクタを Bolt Transmitter の HD-SDI IN に接続してください。この場合、コネクタがメス同士となりますので、同梱の BNC ジョイントコネクタ（オス・オス）を使用して、接続してください。



BNC ジョイントコネクタ
（オス・オス）

Bolt Receiver の HD-SDI OUT に同梱されている BNC ケーブルを接続してください。

3-2. AJA Ki-Pro ケーブル接続

本体側面のコネクタに AC アダプタのコネクタを接続してください。



①カメラから延長された BNC ケーブルまたは Bolt Receiver の HD-SDI OUT に接続された BNC ケーブルを Ki-Pro 背面の HD-SDI IN に接続してください。

②モニターに出力するために同梱の BNC ケーブルを HD-SDI OUT に接続してください。

③PC で制御する為には LAN に PC と接続するための LAN ケーブルを接続してください。



音声収録について

Faceware Complete system には音声収録機材は同梱されておりません。

ただ、Ki-Pro にはマイクプリアンプ機能が搭載されておりますので、任意のマイクをご準備頂ければ、KiPro 背面の Analog Audio In を使用して、ダイナミックマイク・コンデンサマイクどちらでもご利用いただけます。

(オーディオ (XLR) コネクタ左側のスイッチをダイナミックマイクの場合は Mic、コンデンサマイクの場合は Mic +48V にそれぞれ合わせてください。)

3-3. AC7-OLED ケーブル接続

①AC アダプタを背面左側のコネクタに接続してください。

②Ki-Pro からの BNC ケーブルを HD-SDI IN に接続してください。



4. AC7-OLED 操作方法



本体上面左側の電源スイッチをスライドさせて電源を入れます。

基本的には Faceware の収録では何も設定を変更しなくてもご利用いただけますが、AC7 では PRESET を 9 つ登録できますので、基本操作をご紹介します。

まず、AC7-OLED の天面には 3 つのボタンがあります。

- ①ナビゲーションスクロールホイール（以降 ホイール）
- ②カスタムファンクションボタン A（以降 A ボタン）
- ③カスタムファンクションボタン B（以降 B ボタン）

4-1. AC7 の各パラメータ調整方法

- 1. ホイールを押す
- 2. ホイールを左右に回して任意のメニューを選択
- 3. ホイールを押してメニューを確定
- 4. ホイールを回してサブメニューを選択

5. ホイールを押してサブメニューを確定
6. ホイールを回して値を調整
7. A ボタンを押してメニューを戻る

基本的にホイールを押して確定、A ボタンで戻るという操作になります。

4-2. Preset 選択方法

何もメニュー表示がされていない状態で、ホイールを回すと **Preset** リストが表示されます。リストが表示されたら、ホイールを回して任意の **Preset** を選択して、ホイールを押してください。

4-3. カスタムファンクションボタン編集

A ボタン、B ボタンには任意に特定の機能を割り当てることが出来ます。

割り当て方は次の通りです。

1. A ボタンまたは B ボタンを 3 秒以上押し続けてから離します。
2. 割り当て可能な機能のリストが表示されますので、ホイールを回して選択します。
3. ホイールを押して割り当てを確定します。

ファンクションボタンを割り当てると、以降ボタンを押すとそれぞれの機能の ON/OFF が切り替わるようになります。

カスタムファンクションの割り当ては **Preset** 毎に設定されます。

CrossHair や **CrossHatch** を設定するとカメラの向きを合わせるときに便利かもしれません。(Preset 切り替え後、一度何かしらのファンクションボタンを実行しないと、これらのガイドは表示されません。)

5. Ki-Pro 操作



本体正面右下の電源ボタンを押して、電源を入れてください。(起動までに少々時間がかかります。)

5-1. Ki-Pro の本体操作

KiPro の操作は簡単です。基本的に「CONFIG」か「MEDIA」メニューを選択し、SELECT の上下矢印ボタンでサブメニューを選び、ADJUST の上下矢印ボタンで値を変更してください。

重要な CONFIG メニュー

1.1 Record Type 「PSF」を選択してください。

1.4 In Convert 「None」(Default)

2.1 Video Input 「SDI」

2.2 Audio Input 「XLR」(マイクを Ki Pro に接続している場合)

重要な MEDIA メニュー

14.1 Encode Type 「ProRes 422」

19.1 Use Custom Clip Name 「ON」 任意のテイク名を使用したい場合

19.2 Custom Clip Name 「任意の名前」 ADJUST を押して文字を変更し、SELECT でカーソルを移動してください。一番右にカーソル移動後さらに上矢印を押すと確定します。

19.3 Use Custom Clip Take 「ON」 任意のテイク数を使用する場合

19.4 Custome Take 「任意の数字」

・録画、再生は簡単です。

本体正面の録画ボタンで録画が開始され、停止ボタンで停止します。

再生を押すと最後のテイクが再生され、再生中に Select ボタンの下矢印を押すとクリップの先頭にジャンプします。

任意のテイクを再生するには、停止中に **Select** の上下矢印ボタンで再生したいテイク名を探していただき、再生してください。

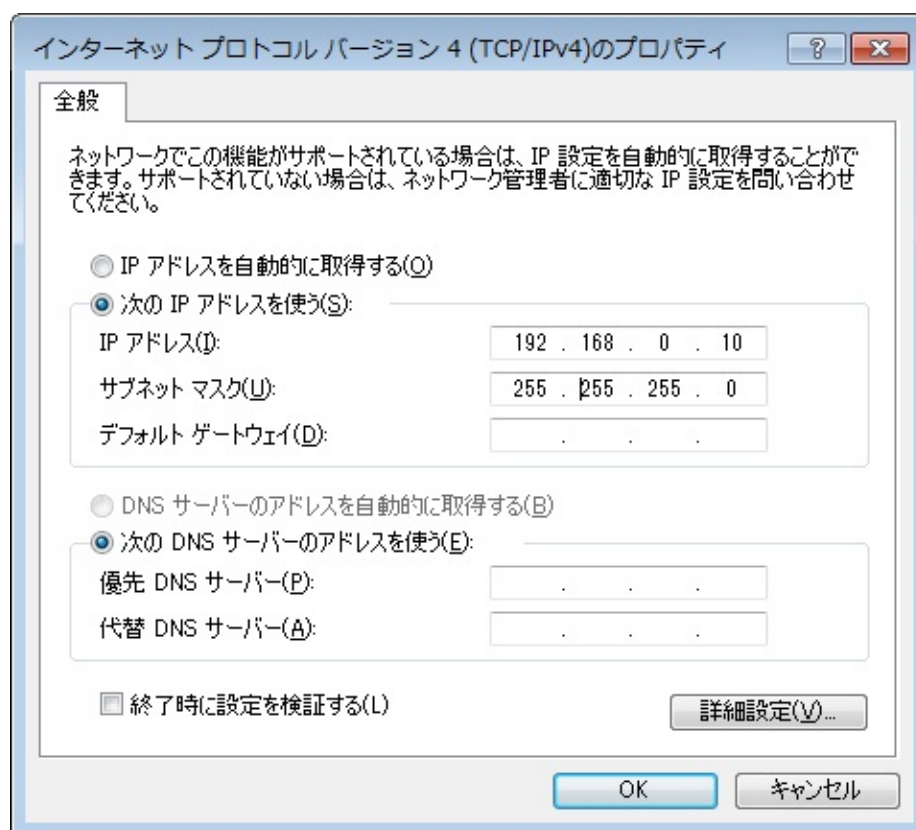
5-2. PC と接続しての操作

5-2-1. PC の LAN の TCP/IP 設定を固定 IP アドレスにします。

コントロールパネル / ネットワークと共有センター / アダプターの設定の変更を選択していただき、**KiPro** と接続されているポートをダブルクリックしてください。

ポップアップされる「ローカルエリア接続の状態」ウインドウで、プロパティを選択し、ローカルエリア接続のプロパティウインドウで”インターネット プロトコル バージョン 4”をダブルクリックしていただき、IP アドレスを 192.168.0.10 としてください。

(**KiPro** の工場出荷時固定アドレスが 192.168.0.2、デフォルトゲートウェイが 192.168.0.1 なので、これに被らなければ 192.168.0.10 以外でも問題ありません。)

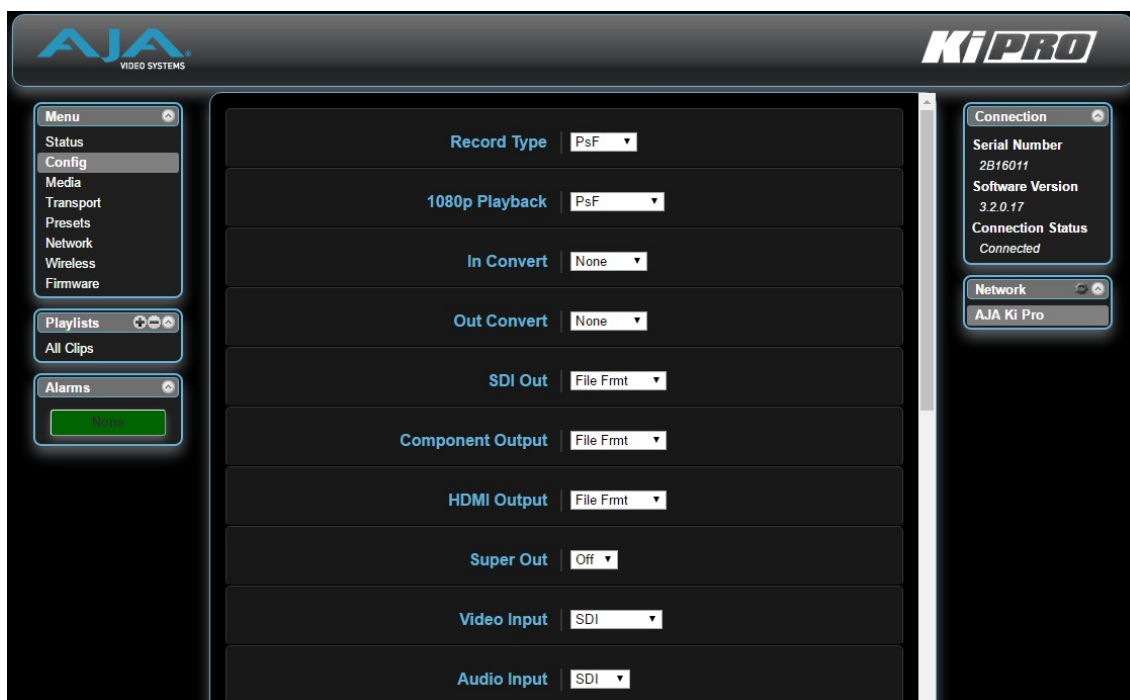


5-2-2. **Ki-Pro** 本体で、CONFIG ボタンを押し、Select ボタンでサブメニューを変更し、50.1 IP Config にして、ADJUST ボタンで「Static Addr」にしてください。

念のため、50.2 で IP Address を確認し、「192.168.0.2」となっているか確認してください。

5-2-3. PC でインターネットブラウザを起動し、URL に 192.168.0.2 と入力して **Ki-Pro** と接続してください。

Ki-Pro のコントロール画面が表示されます。



画面左の Menu という項目に Config、Media という項目があり、本体操作と同様の設定を PC からすべて設定可能です。

Transport という Menu を使用すれば、録画・再生の制御が本体同様行えます。



従いまして、Media を選択して、Custom Clip Name の項目に任意のクリップ名を入力してから TransportMenu で録画を行うことによって、撮影時のクリップ名管理が行いやすくなります。(Custom Clip Name を入力したら、必ずキーボードの Enter を押してください。)

また、Playlists という項目をクリックすると本体に収録されているクリップのリストを見ることが出来ます。ここで、任意のクリップをダブルクリックすれば、Transport の再生す

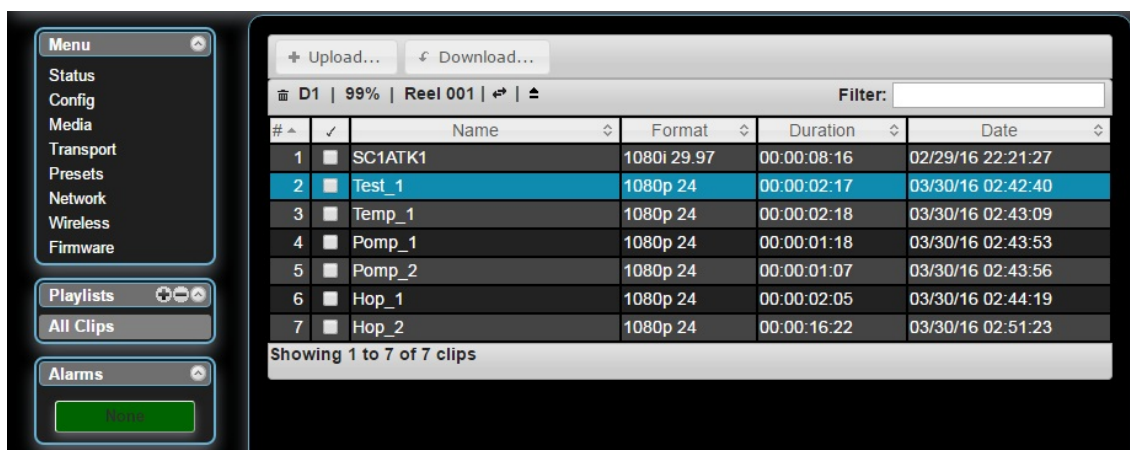
るクリップを指定することが出来ます。(Playlist から再生は出来ません。あくまで再生するクリップを選択するだけで、再生する際は TransportMenu に戻って、再生ボタンを押してください。)

5-2-4. 収録したデータの PC へのコピー

Media Menu で Media State という項目を「Data - LAN」に変更します。

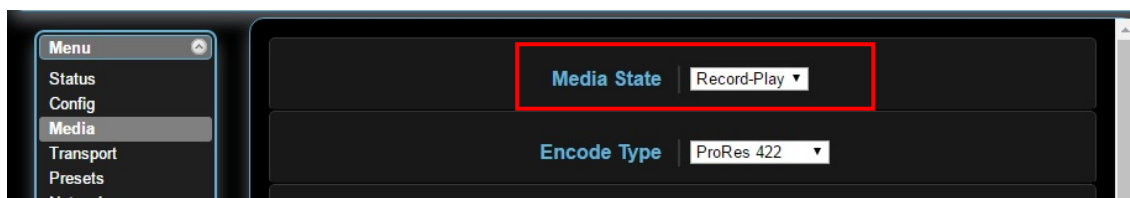


Playlist Menu を表示すると、リスト名の上に Download というボタンが表示されます。PC にコピーしたいクリップにチェックをつけて、Download を押すと、Windows ブラウザが起動し、保存先を指定できます。



この画面を使用して、不要なクリップを削除することも出来ます。

最後に忘れずに Media State の設定を「Record-Play」に戻してください。



6. Ki-Pro 補足

本チュートリアルでは、PC と Ki-Pro を接続する際、Ki-Pro の固定 IP アドレスで 192.168.0.2 を使用しましたが、もちろん、Config Menu 50.2 IP Address で、任意の固定 IP アドレスを使用していただくことも可能です。その際は Gate Way の設定も気をつけてください。

さらに、PC と Ki-Pro をルーター経由で接続されるのであれば、50.1 IP Config で DHCP を選択していただければ、DHCP を使用することも可能です。

その場合は、50.2 IP Address で DHCP サーバーによって Ki-Pro に割り当てられた IP アドレスをチェックしていただき、PC 側のインターネットブラウザで Ki-Pro に表示されている IP アドレスを入力してください。

また、ブラウザの管理メニューではなく、Ki-Pro の Strage を直接 PC に接続して、収録されたデータを PC にコピーする方法もありますが、それには別売りの KiStor Dock が必要になります。

Ki-Pro の KiStor Strage Media (HDD) を外す場合は、必ず本体正面右下の SLOT というボタンを押して、Eject ボタン脇の緑のライトが消えている状態で外してください。

外し方は Eject ボタンを押しながら、本体上部についている Strage を手前にスライドさせるだけです。取り付けるときは Strage を挿すだけです。

誤って Slot ボタンを押した場合は、再度 Slot を押すと再接続されます。

以上